

区長会役員会（5/10）での東北六魂祭実行委員会会長（鹿内青森市長）挨拶

東北六魂祭実行委員会会長を務めております、青森市長の鹿内博でございます。

今年もまた、特別区長会が取り組まれております、「特別区全国連携プロジェクト」の一環として、来る6月25、26日の2日間青森市で開催する「東北六魂祭 2016 青森」に、ご支援・ご協力いただけることとなり、東北六魂祭実行委員会を代表して心から感謝申し上げます。

2011年3月の東日本大震災で犠牲となった方々への鎮魂と、東北の早期復興に向けて、東北の元気を全国に発信するため生まれた東北六魂祭。2011年の仙台市を皮切りに、盛岡、福島、山形、秋田と、そして今年、東北一巡最終の地青森での開催となります。

青森開催の特色としては、ねぶたを複数台参加させるほか、被災地であった青森の県南地方の山車や伝統芸能も披露していきたいと考えています。

またこの度の熊本を中心とした九州での地震で被害を受けられた、九州の皆様、熊本の皆様にも元気を発信できるように、そして連携して東北も九州も一緒になって早期復興ができる祭りとなるよう、実行委員会一丸となって鋭意、準備を進めているところでありますので、各区長の皆様にもお忙しい時期とは存じますが、青森開催にお越しいただいて、東北の元気を肌で感じていただければありがたいと思います。

お手元の資料のとおり、昨年度の秋田開催と同様に23区内でのノボリの掲出やチラシ、ポケットティッシュ等の配布など、青森開催のPRにもご協力いただきますよう改めてお願い申し上げます。

今後においても東北と特別区長会との絆がより深く強く結ばれて様々な分野で交流・連携が図られ、首都圏と東北が共に発展できることを、この東北六魂祭を契機に心から願いますとともに、23区の区長の皆様、そして23区のさらなるご発展を祈念申し上げたいと思います。

私は、青森県市長会の会長も兼ねております。県の市長会と町村会とで、特別区長会と協定をできれば早いうちに締結させていただければありがたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



【東北六魂祭実行委員会会長（鹿内青森市長・中央）と西川会長及び役員区長】